

出水市水道ビジョン(令和3年度～令和12年度)概要版



つるのしん

はじめに

本市の水道事業を取り巻く環境の変化に対応していくため、目指すべき方向性を定めた「出水市水道ビジョン」として策定するものです。

「出水市水道ビジョン」の策定に当たっては、厚生労働省の「新水道ビジョン」が示す「**持続**」「**安全**」「**強靱**」の観点から水道事業の現況評価・課題の抽出、将来の事業環境の予測、水道の理想像を設定し、実現に向けた具体的な施策を掲げることとします。

計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。



東光山公園からの眺望

経営状況

本市の水道事業は、地方公営企業法に基づく企業会計であります。

令和元年度の決算状況は、収益的収支が、66,107千円の黒字です。

水道水を買って収入を得るための供給単価は1m³当たり111.9円であり、同じく水道水をつくるための給水原価は107.8円となっており周辺の事業者及び全国平均と比較して最も低い値となっています。

一方、資本的収支は、333,843千円の不足が生じ、過年度分損益勘定留保資金等で補填しています。

令和元年度の企業債未償還残高は、3,736,773千円です。

企業会計では、内部留保資金が年々減少傾向となり、耐用年数を経過した施設の改修や機器更新費等が増大することから更新事業費に対応できる適切な水道料金の設定等を検証する必要があります。

安心・良質な水道水を安定供給する

どんなときでも確実に水を供給する

- 耐震化計画策定の検討
- 水道施設の耐震性能の把握
- 施設・管路の耐震化
- 災害時の活動体制
- 災害時の資機材調達の構築

いつでも良質な水を供給する

- 水源汚染リスクの監視・管理強化
- 適切な水質検査の実施
- 安全に関する情報公開

強靱

安全

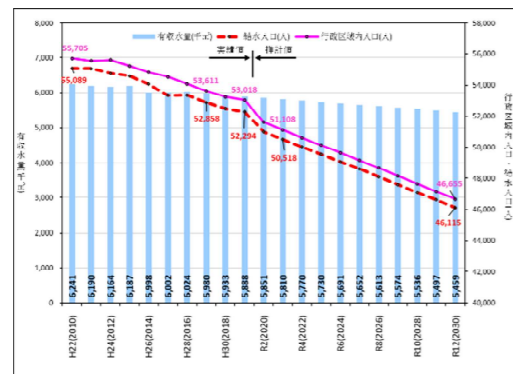
出水市水道ビジョン

持続

いつまでも安定して水を供給する

- 水道施設の再構築
- 健全な経営の維持
- 職員の技術力・組織力の強化

令和元年度末の上水道事業、簡易水道普及率は99.0%となっています。給水人口は、10年間で2,795人も減少しています。今後も減少は続き、10年後の令和12年には、現在の12.0%の減少となる見込みです。



水源施設

水道事業の水源は、合計34か所（湧水：3か所、地下水：31か所）です。

浄水施設

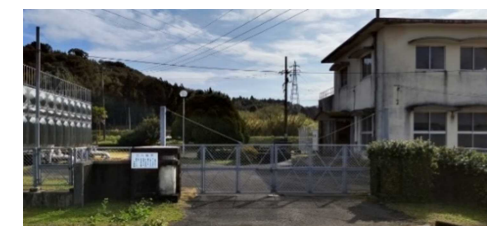
浄水施設は、合計19か所（上水道：8か所、簡易水道：11か所）あり、浄水方法は上水道の2か所、簡易水道3か所が急速ろ過方式、簡易水道1か所が紫外線消毒方式です。また、高度経済成長期に建設された施設が多く老朽化が進んでいます。

また、高度経済成長期に建設された施設が多く老朽化が進んでいます。

配水施設（配水池）

上水道事業と簡易水道事業の配水池は、合計42か所（上水道：18池、簡易水道：24池）あり、計画1日最大給水量37,010m³/日に対して約14時間分の貯水能力を確保しています。配水池のうち22か所が設置されてから40年以上経過しており老朽化が進んでいます。

安原高区配水池

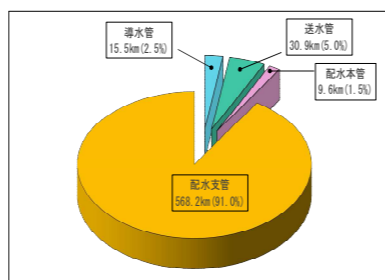


小原浄水場

施設名	構造	建設年度	経過年数
小原低区第1配水池	RC	S35(1960)	59
小原低区第2配水池	RC	S35(1960)	59
小原低区第3配水池	RC	S35(1960)	59
小原高区配水池	RC	S35(1960)	59
小原高台配水池	RC	S36(1961)	58
鶴野配水池	RC	S44(1969)	50
朝熊配水池	RC	S40(1965)	54
高尾野第1配水池	RC	S36(1961)	58
段第1配水池	RC	S40(1965)	54
浦窪第1配水池	RC	S41(1966)	53
辺田第1配水池	RC	S44(1969)	50
荒崎第1配水池	RC	S42(1967)	52

管路施設

上水道事業と簡易水道事業の導・送・配水管路の総延長は、624.2kmであります。そのうち重要な配管の基幹管路（導水管・送水管・配水本管）の延長は56.0kmです。



導水管：原水を浄水場に送る管

送水管：浄水場から配水池まで滅菌した水を送る管

配水管：配水本管と配水支管に分類されます。配水本管は、浄水を配水支管へ輸送、分配する管

配水支管は、一般家庭に供給する管へ水を送る管



漏水調査



給水車

No	今後10年間の取組	目標期間											
		H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
1	安全な水の供給	適正な水質試験の実施											
2	危機管理マニュアルの策定	年度ごと策定											
3	施設統合計画	施設統合計画											
4	施設・管路の更新・耐震化	耐震化計画 安原地域更新 管路・施設の更新											
5	適切な情報公開	水質試験結果など水道事業に係る情報公開											
6	健全な経営の維持と施設整備計画の策定	旧経営戦略の導入 7セクタメントの実践・具体的な運営改善の検討 施設台帳整備 施設更新費の検証・検討											
7	職員の技術力・組織力の強化	職員の技術力・組織力の強化											
8	広域化への取組の検討	広域化への取組の検討・災害時協力体制の構築											